

燃料と飲料

燃料は穀稈、草根、馬糞とす。石炭は寧夏、化亭、西寧及蘭州附近に得るに過ぎずし。沿道に産地を有せざれば、之を常用とするは、富豪若くば商工の一部のみとす。飲料水は六盤山以東に於ては、河水を利用すべきも、以西は地質甚しく苛性曹達を含有するか故に、河水も其味苦鹹到底雨水の外飲用に適せず、一回の洗面水、一碗の茶湯も、皆價を拂はざるべからず。

往年の物
騷と今日
の平穩

甘肅省民は古來慄慄と稱せられ、馬賊の横行寧ろ滿州地方に優ること有るも、決して劣るなき形勢なりと聞きしに、今は全く其跡を絶ちて、行旅極めて安全なり。唯々當年の遺物卡房(哨舍)は我が一里内外の地を隔て、存在し、且つ要所に營房の犖然たるを見るも、守人去つて鳥雀の巢ふに任せたり。

牧畜と羊群

沿道は牧畜盛にして、羊其の大部を占め、部落の在る處必ず羊群の放牧を見ざる無く、少なきも數十頭多きは數百頭を算す。惟ふに回民多き爲めならんか。牛の牧養は盛ならず、而も一定の牧場なし。聞く馬匹は大部省外より仰く、即ち青海の産馬は西寧を、蒙古の産馬は寧夏を集散場とし、新疆の産馬は嘉峪關を吞吐口と爲すと。土人は之を購ひて、乗用或は挽用に供し、或は驢に配して騾を産ましめ、專